

事業概要

1 組織の拡充と運営の適正化

(1) 総会の開催

〔R6.5.30 県総合福祉センター 研修ホール〕

- ① 令和5年度県老連事業報告について
- ② 令和5年度県老連収入支出決算(案)について
- ③ 基本財産の一部の基本財産からの除外及び取り崩しについて
- ④ 県老連役員等の改選について
- ⑤ 休会に伴う会費の支払い免除について

(2) 理事会の開催

〔第1回：R6.5.10 県総合福祉センター 研修ホール〕

- ① 令和5年度県老連事業報告(案)について
- ② 令和5年度県老連収入支出決算(案)について
- ③ 基本財産の一部の基本財産からの除外及び取り崩しについて
- ④ 令和6年度定時会員総会の開催について
- ⑤ 休会に伴う会費の支払い免除について

〔第2回：R7.3.7 県総合福祉センター 研修ホール〕

- ① 令和7年度事業計画(案)について
- ② 令和7年度収支予算(案)について
- ③ 令和7年度県老連指定旅館の指定について
- ④ 会員加入増強運動の実施について
- ⑤ 事務局長の交代について

(3) 正副会長会議の開催

〔第1回：R6.4.16 県総合福祉センター 第4会議室〕

- ① 令和5年度県老連事業報告(案)について
- ② 令和5年度県老連収入支出決算(案)について
- ③ 基本財産の一部の基本財産からの除外及び取り崩しについて
- ④ 県老連役員の一部改選について
- ⑤ 令和6年度会員総会の開催について
- ⑥ 会員加入増強運動推進委員会について
- ⑦ 寿詞贈呈の見直しについて

〔第2回：R6.7.25 県総合福祉センター 第4会議室〕

- ① 第40回熊本県老人クラブ大会について
- ② 県老連会長表彰について
- ③ 寿詞贈呈対象者について
- ④ 第2次会員加入増強運動推進委員会について

〔第3回：R7.2.18 県総合福祉センター 第4会議室〕

- ① 令和7年度事業計画（案）について
- ② 令和7年度収支予算（案）について
- ③ 令和7年度県老連指定旅館の指定について
- ④ 会員加入増強運動の実施について
- ⑤ 県老連職員給与の改定について

（4）監事会の開催

〔R6.4.16 県総合福祉センター 第4会議室〕

令和5年度県老連事業の執行状況及び収入支出予算の執行管理（決算）の状況について、監事による監査を実施。

（5）県老連女性委員会の開催

〔第1回：R6.5.20 県総合福祉センター 研修ホール〕

- ① 女性委員会設立30周年事業について
- ② 老人クラブ会員減少の要因と対策について

〔第2回：R7.2.21 県総合福祉センター 研修ホール〕

- ① 女性委員会設立30周年事業記念講演会
講師 潮谷 義子 様（社会福祉法人慈愛園相談役）
演題 「未来への歩み」・・・幸齢社会をめざそう

（6）友愛訪問活動活性化委員会の開催

〔第1回：R6.5.20 県総合福祉センター 研修ホール〕

- ① 高齢消費者被害防止について研修

〔第2回：R7.2.21 県総合福祉センター 研修ホール〕

- ① 友愛訪問活動の取組状況について発表及び意見交換について

（7）活動積立金管理運営委員会の開催

〔R7.1.22 県総合福祉センター 第4会議室〕

- ① 令和7年度予算案への取り崩した基本財産の充当について
- ② 令和8年度における基本財産の一部の基本財産からの除外及び取り崩しについて
- ③ 令和6年度決算案への取り崩した基本財産の充当について
- ④ 基金の運用について

（8）広報委員会の開催

〔第1回：R6.4.23 県総合福祉センター 第4会議室〕

機関紙「くまもと県老連だより」第146号の発行について

〔第2回：R6.10.2 県総合福祉センター 第4会議室〕

機関紙「くまもと県老連だより」第147号の発行について

（9）会員加入増強運動準備委員会の開催

〔R7.1.28 県総合福祉センター 第4会議室〕

- ① 実施要綱（案）
- ② 委員会設置要綱（案）
- ③ スケジュール

(10) 諸会議への参加

〔1〕全老連理事会・評議員会

〔第1回評議員会：R6.6.20 全社協会議室〕＜会長出席＞

- ① 令和5年度事業報告について
- ② 令和5年度決算について

〔第2回理事会：R7.3.13 全社協会議室〕＜会長出席＞

- ① 令和7年度事業計画（案）について
- ② 令和7年度収支予算（案）について

〔2〕都道府県・指定都市老連代表者会議

〔R7.2.4～5 全社協灘尾ホール〕＜会長、女性委員長、事務局長出席＞

- ① 基調講演
- ② 行政説明
- ③ 基調説明
 - ・ 全国的な取り組みの重点
 - ・ 令和7年度事業・予算
 - ・ 法人運営の見直し等
 - ・ 老人クラブ保険
 - ・ 老人クラブ関係国庫補助予算
 - ・ 今後の検討課題
- ④ 活動発表
 - ・ 福島県老人クラブ連合会
 - ・ 東京都老人クラブ連合会
 - ・ 広島市老人クラブ連合会
 - ・ 石川県老人クラブ連合会
- ⑤ 交流会
- ⑥ 講演
- ⑦ 全体会

〔3〕都道府県・指定都市老連事務局長会議

〔R6.7.30 全社協会議室〕＜事務局長出席＞

- ① 行政説明
- ② 基調説明
 - ・ 老人クラブの組織の状況について
- ③ 事例発表（2事例）
 - ・ 栃木県老人クラブ連合会
 - ・ 三重県老人クラブ連合会
- ④ 分散会（4分散会）
 - ・ 老人クラブ活動の活性化に向けた取り組み

- ・ 組織の体制強化に向けた取り組み
- ⑤ 全体会

〔４〕九州各県・指定都市老人クラブ連合会連絡協議会
〔R7.2.13～14 沖縄県〕＜会長、事務局長出席＞

- ① 全老連説明
- ② 令和６年度九州各県・指定都市老人クラブ連合会連絡協議会事務局長会議の結果について（報告）
- ③ 令和６年度事業報告及び収支決算（案）について
- ④ 令和７年度事業計画及び収支予算（案）について
- ⑤ 規約等の一部改正について
 - ・ 規約等の一部改正について
 - ・ 運営・取扱要領の一部改正について
 - ・ 主要行事申し合わせ事項の一部改正について
 - ・ 負担金規程の制定について
 - ・ 負担金の減額について
 - ・ 文書管理内規の一部改正について
- ⑥ 本会の役員及び全老連の役員への推薦について
- ⑦ 提出議題（２題）について
- ⑧ 報告事項（２件）について
 - ・ 令和７年度九州ブロック老人クラブリーダー研修会開催要綱（案）について
 - ・ 令和８年度九州ブロック老人クラブリーダー研修会開催要綱（案）について

〔５〕九州各県・指定都市老人クラブ連合会事務局長会議
〔R6.8.22～23 鹿児島県〕＜事務局長、主事出席＞

- ① 各県提出議題 １３件
- ② 各県提出協議事項 ２件

２ 老人クラブ育成指導の強化

（１）指導者の資質の向上

〔１〕高齢者の健康づくり・生活支援セミナーへの参加

〔R6.12.5～6 東京都 全社協灘尾ホール〕＜熊本県参加者３人＞

- ① 基調説明
- ② 地域支えあい／「地域で取り組む健康づくりと支え合い」
- ③ 講義１「健康／運動」
- ④ 講義２「健康／栄養」
- ⑤ 講義３「健康／医療」
- ⑥ 講義４「健康／歯・口腔」

〔２〕第５３回全国老人クラブ大会への参加

〔R6.11.20～21 神奈川県 神奈川県民ホール〕＜熊本県参加者８人＞

第1部：活動発表（パネルディスカッション）

第2部：講演・式典

○講演 「健康寿命の延伸と栄養・食事」

神奈川県立保健福祉大学 名誉学長 中村 丁次 氏

○表彰（令和6年度全老連会長表彰）

〈育成功労表彰〉

(1) 阿蘇品 欣友 氏（県老連理事、山鹿市老連会長）

(2) 津出 悦男 氏（元県老連理事、嘉島町老連会長）

(3) 後藤 且也 氏（県老連理事、小国町老連会長）

〈女性リーダー育成功労表彰〉

(1) 松下 睦枝 氏（水俣市老連会長）

〈若手リーダー育成功労表彰〉

(1) 野中 育代 氏（天草市老連副会長）

〈優良老人クラブ表彰〉

(1) 宮原5部老人クラブ（小国町）

〈優良老人クラブ連合会表彰〉

(1) 苓北町老人クラブ連合会

〔3〕郡・市町村老連事務担当者研修会の開催

〔R6.6.7 熊本県総合福祉センター5階研修ホール〕

参加者 56人（内オンライン17人）

① 老人クラブ等に対する補助事業について（県高齢者支援課）

② 「調理スキルと健康状態」に関する調査結果について

（熊本県立大学 岸准教授）

③ 令和6年度県老連事業について

④ 老人クラブ活動の事例発表

「氷川町における単老増強の取組について」（氷川町老連）

⑤ eスポーツ体験講習

（熊本日日新聞社 上田新規ビジネス推進部長 ほか）

（2）市町村老連の育成強化と単位クラブ活動の充実

〔1〕老人クラブ新任会長及び女性リーダー研修会における講話

開催時期：R6.6.21～8.19

対象者：市町村老連単老新任会長及び女性部長等女性リーダー

開催老連：計36市町村

参加者数：616人

内容：「老人クラブの運営について」ほか

講師：県老連事務局長ほか

〔2〕元気老人クラブ活動広報推進事業

（1）研修会の開催

開催期日：R6.9.4

会場：KKRホテル熊本 2階「五峯・城彩」

事例発表：①地区との地域間の連帯

上天草市老人クラブ連合会大矢野分会
 ②単位老人クラブ新設における取組について
 高森町老人クラブ連合会

講 演：シニア世代の認知症対策～今日からできる備えと工夫～
 講師：株式会社 Re 学 代表取締役 川畑 智 氏

参 加 者：29市町村老連から105人

(2) 老人クラブPR資料及び会員の在宅での活動等の参考資料を作成
 元気老人クラブ活動広報推進事業研修会の概要と、季刊「全老連」に
 掲載された全国の会員増強事例を「会員増強の手引き V.9」として作成
 し、各単老に配付。

3 生きがいと健康を進める運動の推進強化

(1) 健康・生きがいづくりに関する研修・指導事業

〔1〕健康・生きがいづくり支援事業推進委員会の開催

医師、歯科医師、栄養士、健康運動指導士、行政等の外部委員を中心とした6人の委員による推進委員会を開催し、県老連が行う健康・生きがいづくりの取組について協議等を行いました。

議 題	健康・生きがいづくり支援事業推進委員会
	①令和6年度健康・生きがいづくり支援事業の取組状況について ②令和7年度健康・生きがいづくり支援事業の実施計画について ③意見交換
開 催 日	R6.11.12
会 場	熊本県総合福祉センター（第4会議室）

〔2〕健康づくりブロック別研修会

令和6年度は、県北ブロック（合志市、菊池郡地区）と県南ブロック（人吉市、球磨郡地区）の2ブロックで開催しました。

講 演	県北ブロック：合志市・菊池郡地区
	①「食べるフレイル予防」 講師 熊本県栄養士会 管理栄養士 三好由華 氏
実践報告	②「高齢者の正しい運動の仕方について」 講師 熊本県理学療法士協会 理事 北尾昌平 氏
	頭と体の体操「つながる広場」 報告者 宇土市老人クラブ連合会 事務局長 田代昭子 氏
開 催 日	R6.6.19
会 場	大津町生涯学習センター「大会議室」

参加対象 参加者数	対象地区の市町村老連・支部等役員、健康づくり担当等 60人
講 演	県南ブロック：人吉市・球磨郡地区 ①「食べるフレイル予防」 講師 熊本県栄養士会 管理栄養士 築地佑奈 氏 ②「筋力強化でフレイル予防」 講師 熊本県理学療法士協会 理事 北尾昌平 氏
実践報告	頭と体の体操「つながる広場」 報告者 宇土市老人クラブ連合会 事務局長 田代昭子 氏
開 催 日	R6.7.10
会 場	あさぎり町深田校区公民館「せきれい館」
参加対象	対象地区の市町村老連・支部等役員、健康づくり担当等
参加者数	88人

〔3〕健康ウォーキング・ニュースポーツ等研修会

実技講習	①「ニュースポーツ（公式ワナゲ）実技講習」 講師 NPO 法人フレンドリー情報センター ニュースポーツ指導員 西尾 和久 氏 ②「ニュースポーツ（ボッチャ）実技講習」 講師 NPO 法人フレンドリー情報センター ニュースポーツ指導員 西尾 和久 氏
開 催 日	R6.10.30
会 場	熊本県立総合体育館（中体育室）
参加対象	市町村老連・支部等の健康づくり担当、体育部長等
参加者数	57人（16市町村老連）

〔4〕健康づくりリーダー等研修会

表 彰 式 報 告 講 演	「みんなで健康ウォーキングキャンペーン」成績優秀者表彰 「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」参加者報告 ①「食べるフレイル予防」 講師 熊本県立大学 環境共生学部 食健康環境学専攻 准教授 岸 知子 氏 ②「筋力強化でフレイル予防」 講師 熊本県理学療法士協会 理事 北尾 昌平 氏
開 催 日	R6.12.20
会 場	熊本県総合福祉センター 5階研修ホール
参加対象	市町村老連・支部等役員、健康づくり担当等
参加者数	52人（17市町村老連）

(2) 高齢者の体力測定普及活動の推進

市町村老連等における体力測定会の実施を支援し、「高齢者の体力測定」の普及・啓発に取り組む事業です。

令和5年度末に実施した意向調査に基づき、下記の4つのクラブ等を選定し実施を支援しました。

- 1 玉名市老人クラブ連合会 横島支部
- 2 玉名市老人クラブ連合会 玉名中央支部 築地長寿会
- 3 山鹿市老人クラブ連合会
- 4 氷川町老人クラブ連合会

(3) 健康ウォーキング・ニュースポーツ等活動支援事業

誰もが気軽に参加できる「くまもとスマートライフ」アプリを活用した健康ウォーキングのキャンペーンを実施するとともに、市町村老連の事務担当者を対象としてeスポーツの体験講習会を開催しました。

〔1〕みんなで健康ウォーキングキャンペーン

スマートフォンを持つ会員なら誰でも参加できるキャンペーンです。キャンペーン期間中の1日当たりの平均歩数により、成績優秀者を表彰しました。

要 件	自分のスマホに「くまもとスマートライフアプリ」をダウンロードし、所属市町村老連の団体コードで登録する。 スマホを所持して行動することで、歩数が自動計測される。
開催期間	R6.10.1～R11.30（2か月間）
表 彰 者	1日の平均歩数の上位6人 最優秀者賞（1位） 濱口政勝 氏（大津町老連） 優秀者賞（2位） 橋爪和彦 氏（あさぎり町老連） 優秀者賞（3位） 藤本賢一 氏（上天草市老連） 努 力 賞（4位） 小田 主 氏（宇城市老連） 努 力 賞（5位） 内藤 寛 氏（嘉島町老連） 努 力 賞（6位） 工藤正明 氏（湯前町老連）

〔2〕eスポーツ体験講習

郡・市町村老連事務担当者研修会において体験講習を開催し、各市町村老連の事務担当者にeスポーツの楽しさを体験してもらいました。

講 演	「高齢者eスポーツで人生を豊かに」 講師 株式会社 熊本日新聞社 新規ビジネス推進部長 上田 良志 氏
実技講習	種目：ぷよぷよ、太鼓の達人 eスポーツインストラクター4人
開 催 日	R6.6.7
会 場	熊本県総合福祉センター 5階研修ホール
参加対象	郡・市町村老人クラブ連合会事務担当者
参加者数	39人

(4) 熊本県高齢者スポーツ・文化の集いへの協力、参加

- ① シルバースポーツ交流大会
期日：R6.3.9～5.18
会場：熊本県民総合運動公園、熊本市総合体育館、熊本武道館他
種目：グラウンド・ゴルフ、ソフトテニスなど
- ② シルバー囲碁・将棋大会
期日：R6.6.1（囲碁）、R6.6.2（将棋）
会場：熊本県総合福祉センター 5階研修ホールほか
- ③ 熊本県シニア美術展
期日：R6.8.27～9.1
会場：県立美術館分館
部門：日本画、洋画、写真、書、彫刻、工芸

4 老人クラブ社会参加への推進

(1) 社会活動の展開(「社会奉仕の日」の推進と「老人の日・老人週間」中の活動の強化)

「老人の日・老人週間」制定の趣旨を踏まえ、健康づくりと社会参加への高齢者の意欲と姿勢を明らかにするとともに、「社会奉仕の日」を設定し、美化活動・環境にやさしい活動に組織をあげて取り組みました。

取組老連数 ： 36老連
参加クラブ数 ： 806クラブ
期間中の参加者数： のべ13,314人

(2) シルバーヘルパー活動推進事業

- ① シルバーヘルパー養成講習会
開催日 R6.7.17～R6.11.7
会場 県内18会場
養成者数 新規465人
累計48,969人（平成元年度から令和6年度まで）
実施状況 実施状況 →別表1のとおり
修了証交付状況 →別表2のとおり
- ② シルバーヘルパー指導者養成講習会
開催日 R6.10.15～R6.10.29
会場 県下4ブロック（3会場）
修了者数 114人
累計5,772人（平成9年度から令和6年度まで）
実施状況 実施状況 →別表3のとおり
修了証交付状況 →別表4のとおり

5 老人福祉対策の推進

(1) 老人週間運動の推進と寿詞贈呈

老人週間運動の一環として、寿詞状を贈呈しました。

対象者 95歳以上（R6.12末現在）の老人クラブ会員
人 数 男性178人
女性515人 計693人

（２）第40回熊本県老人クラブ大会

〔R6.10.9 KKRホテル熊本〕

参加者数 308人

内 容 ・メインテーマ：「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

・開会式典

・老人クラブ育成功労者表彰

① 市郡町村等・地区・校区老連会長 20人

② 単位老人クラブ会長 133人

③ 老連女性副会長・女性部長 19人

④ 特別表彰 ・友愛活動等 4人

・事務局職員 18人

・会員増加老連 2老連

・会員増加単位老人クラブ 14クラブ

・特別功労 4人

・全老連「活動賞」受賞団体への表彰状伝達

(1) 願成寺町シニアクラブ 願成会A・B（人吉市）

(2) 日吉東校区老人クラブ連合会（熊本市）

・講演会

演題 「新千円札肖像画となった

北里柴三郎のひととなり」

講師 北里柴三郎記念館 館長 北里 英郎 氏

（３）老人クラブ保険加入の推進

全老連が実施する、老人クラブ会員自身の活動中のケガや、日常のケガに対応する「傷害保険」、また活動中の他人への加害（ケガ・物損）に対応する「賠償責任保険」の普及に努めました。

① 文書や研修会時等に併せての加入促進要請

② 「老連だより」による広告掲載

③ 各研修会資料による広告掲載

（４）指定旅館の指定

老人クラブ会員の福利厚生を目的として、指定旅館・ホテル等を指定しました。

県内9施設 県外3施設 計12施設

県 内 （9施設）	県 外 （3施設）
玉名温泉 つかさの湯	名湯の宿 雲仙いわき旅館
平山温泉 恵荘	萩の里温泉
菊池グランドホテル	AOSHIMA SUIKOEN（青島水光苑）
ゆのまえ温泉 湯楽里	
天草市宿泊施設 やすらぎ荘	

ホテル松竜園 海星
旅亭 藍の岬
旅館 なかしま荘
よしやホテル きらら停

6 広報活動

- 機関紙「くまもと県老連だより」を年2回発行し、単位クラブ及び関係機関・団体へ配付し、それぞれの情報交換、活動の啓発に努めました。

- ① R6.7 発行 第146号（3,500部）
- ② R7.1 発行 第147号（3,500部）